



十小だより

令和 7 年 1 月 3 1 日

第 1 0 号

府中市立府中第十小学校

色とりどりの「10らんかい」(展覧会) へようこそ

校長 草刈 あずさ

寒さが厳しい時期となってきました。乾燥した日が続く、感染症の流行が心配されます。体調不調の際は、マスクを着用するなど、感染症が集団に蔓延しないよう、お互いに気を付けながら過ごせるようにしていきましょう。十分な睡眠の確保についても、各ご家庭でご配慮願います。

さて、1学期から準備を進めてきた「10らんかい」(展覧会)がいよいよ始まりました。絵などの平面作品、工作などの立体作品を各自一点ずつと、5・6年生は家庭科の作品、全学年が共同制作の作品を展示しています。正門を入ったところから1年生の色水、5年生のウインドアートが雰囲気を盛り上げてくれています。昇降口を入ると4年生の光サンドイッチ、会場内の天井には3年生のつなぐれ広がれ線と色、ギャラリーには2年生のキラキラアンブレラ、そして体育館の舞台内には6年生のプログラミング作品があります。



体育館会場の入り口の様子



共同作品と個人の立体作品

子どもたちの作品が置き終わった火曜日に、なかなか登校ができない子どもと一緒に、一足早い展覧会を楽しみました。私と二人よりも、友達がいた方がよいと思い声をかけ、友達が車椅子を押して案内をしてくれました。まずは自分の作品を探し、次に自分たちの友達や知っている子の作品を見て、その後は、気になる作品、気に入った作品を見ていました。感心したのは、他の人のよさを見付けていること、そして、車椅子で作品を傷つけないように注意していたこと。とても、素晴らしい鑑賞態度だと思いました。



5年生の共同作品は、子どもたち全員が毎日出入りする昇降口のドアにあります。3学期が始まって早々に製作が始まりましたが、汚されたり、消されたりするようなことなく、全校の子どもたちが大切に展覧会まで保存してくれています。作品を大切にすることを通して、人を大切にしている姿だと思い、心から素晴らしい子どもたちだなと思います。また、5・6年生にとっては、最後の展覧会です。下級生があこがれる作品になっていますので、下級生の今後の図工や家庭科にいい影響を与えてくれることが期待できます。

いよいよ、児童や保護者、地域の方の鑑賞日が始まります。大人も子どもも心を豊かにする機会です。多くの方に参観していただきたいと思います。ご来校をお待ちしています。